

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
・学習指導では、図工の授業の中で、体験を増やすことを課題とし、様々な道具の使い方、表現技法を身に付けることができた。	・用具、材料との出会い、教師の助言、充実した鑑賞の授業により、児童の豊かな発想を広げる。また、児童のもつ知識を最大限まで引き出し、個々の創意工夫に満ちた作品になるように取り組むことをこれからの課題とする。

●本校の実態を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	・人物を描くのが苦手な児童がいる。	・人物の描き方をスモールステップに分け指導する。
2年生	・手先の不器用さが目立つ児童がいる。	・基本的な道具の使い方を繰り返し指導する。
3年生	・造形活動に関する意欲は高い。手を動かして物を作る体験活動が少ない。	・体験を豊かにする題材を取り上げる。 ・学習課題を明確にして思考と表現を意識的に結び付けていく。
4年生	・体験活動が少ないので、事象の認知を高めるとともに、豊かな表現を身に付ける。	・木を切る、やすりをかけるなどといった道具の使い方を学習させるとともに、手を動かす活動を取り入れる。
5年生	・学習に対し積極的に取り組むが、豊かな発想、創意工夫に課題が見られる。	・平面作品における描画技法、立体作品における造形技法を多く身に付ける学習を取り入れる。
6年生	・学習に対し、非常に丁寧に取り組む一方、学習スピード、力強さに課題が見られる。	・作品を常に遠くから見て力強さが伝わるように意識させて取り組む。 ・時間を意識させて取り組む。

●学校全体で取り組む内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の正しい使い方を繰り返し指導する。</li> <li>・自分たちの作品や親しみのある美術作品を見たり、話したりする鑑賞活動を通して、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------